

報道関係者各位(企業情報)

2018年(平成30年)1月4日

ファンケル 島田和幸社長 年頭訓示 “変化の兆し”感じ、即応力と実行力を 外部連携で活路、海外事業を成長ドライバーに

株式会社ファンケルの代表取締役社長 CEO 島田和幸は2018年1月4日、グループ従業員への年頭訓示を行いましたのでご報告いたします。



新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は「戌戌(つちのえいぬ)」です。戌年は「新しい命を育む縁起の良い年」です。ファンケルは、新たな中期経営計画をスタートさせます。地に足をしっかりつけて新しい計画を育んでいきましょう。

日本社会は少子高齢化が加速し、本格的な高齢化や人口減少など深刻な問題に直面しています。

「人生100年時代」と言われる今、皆さんにも70歳、75歳まで活躍してもらう時代が到来します。企業に求められているのは、従業員の働きがいや幸せ、健康を追求し、それに対して投資をする姿勢です。

当社も、ALL-FANCLでのチームプレーで最大限力を発揮できるように、働き方や休み方の改革を推進し、ファンケルらしい健康経営の実現を目指します。

世の中はめまぐるしく変化、じっくり検討してからの対処では遅い

世の中はめまぐるしく変化を続けています。モノは所有するよりシェアするシェアリングエコノミーが拡大し、インターネット通販が旺盛となり、リアル店舗は独自の価値提供を模索し続けています。ポスト・スマートフォンと言われる、人工知能を活用したAIスピーカーが発売され、さまざまな企業がこのAIスピーカーを介して新たな顧客接点を生み出そうと注目しています。つい最近までの常識や便利さが、あっという間に過去のコトやモノになる時代です。

そんな世の中の中のさまざまな変化をしっかりと見極め、じっくり検討してから対処するのでは遅いのです。変化の兆しを感じ取り、即応しなければなりません。必要なのは「即応力」です。そして、その考えや計画をやり抜く「実行力」です。

2018年は2つのことに新たに力を入れていきます。1つ目は、「外部との連携で新風を起こし、新しいチャンネルを拡大させていく」ことです。他社と連携することで、自らを知り、自信を持つことができます。私たちが持つ、技術や研究成果、製品力に自信を持ち、新たな価値を創造することで、活路を見出していきます。2つ目は、「グローバル化を加速させ、海外事業を新たな成長ドライバーにするための準備を進める」ことです。

2020年、その先の未来も見据え、新中期経営計画を開始

そして今年、2030年までの時代の変化を予測した中長期的なビジョンを描きつつ、オリンピックイヤーで創業40周年である2020年までの新たな中期経営計画をスタートさせます。

2015年から取り組んだ第1期中期経営計画「広告先行成長戦略」で築き上げた成長軌道を、より確かなものにし、収益性を高めていく3年です。そのために、国内事業は継続的な安定成長を目指し、海外展開を新たな成長ドライバーにしていきます。

中国、香港、台湾、シンガポールといったアジア地域における小売実績は高い伸長率を維持しており、現地ニーズを捉えた現地専用品を継続的に投入していきます。中国市場におけるサプリメント事業も、本格展開に向け着実に準備を進め、積極的な海外展開戦略を推進していきます。

国内、海外事業の共通事項として、「研究～企画～製造～販売、そして全社、全従業員が一体となって製品を育成し、お客様の満足度を高めていく」ことが基本です。

化粧品、健康食品ともに、強い製品・製品群作りと、その育成に注力していきます。特に健康食品は、化粧品事業を超える成長性を維持していきます。化粧品は、新カテゴリーへの挑戦として、60代以上の方のためのブランド「ビューティブーク」の本格展開や、今春上市するアラサー向けの新ブランドの認知拡大にも取り組みます。昨年好調だったアテナ、ボウシャは、今年も2ケタ超の成長を期待します。

即応力が求められる販売チャネルについては、通信販売のEコマースをより一層強化し、直営店舗では強みである対面でのカウンセリングに磨きをかけていきます。流通チャネルでは、当社の技術力、製品力を武器にした提案型の営業を強化します。

各社の「健康経営」をバックアップする「健康増進サービス」の展開も本腰を入れて取り組みます。従業員の心と体の健康に対して、企業は投資をする時代です。当社が持つ強みを最大限活用して、世の中のニーズに即応し、「健康経営はファンケルと一緒に取り組む」という存在感を目指します。

一步踏み出す。それをやり抜く「実行力」を期待

2018年は、「広告先行成長戦略」で取り組んできた実りを刈り取り、次の2020年に向けて大きく飛躍を遂げるための準備を整える年です。勢いで走り抜けるのではなく、地に足をつけて、精緻にやっていきましょう。

これまでの価値観を払しょくして、新しい事に取り組ましましょう。一步踏み出す。それをやり抜く「実行力」を期待します。

ファンケルはまだまだ進化できます。

自分たちのブランド、技術、製品に自信を持ち、ALL-FANCL、ONE-FANCLで今年も頑張りましょう。

本件に関するお問合せ先

株式会社ファンケル 社長室 広報グループ
TEL:045-226-1230 FAX:045-226-1202